

第36回ことう地域チームケア研究会

# 口腔ケア研究会

## 口の中を見てみましょう

---

平成31年1月10日 彦根歯科医師会

# 初めに

各職種の方々は日々患者様のケアにご尽力されておられることと存じます。

しかし、口腔内に関してはよくわからない、というお言葉を度々いただきます。

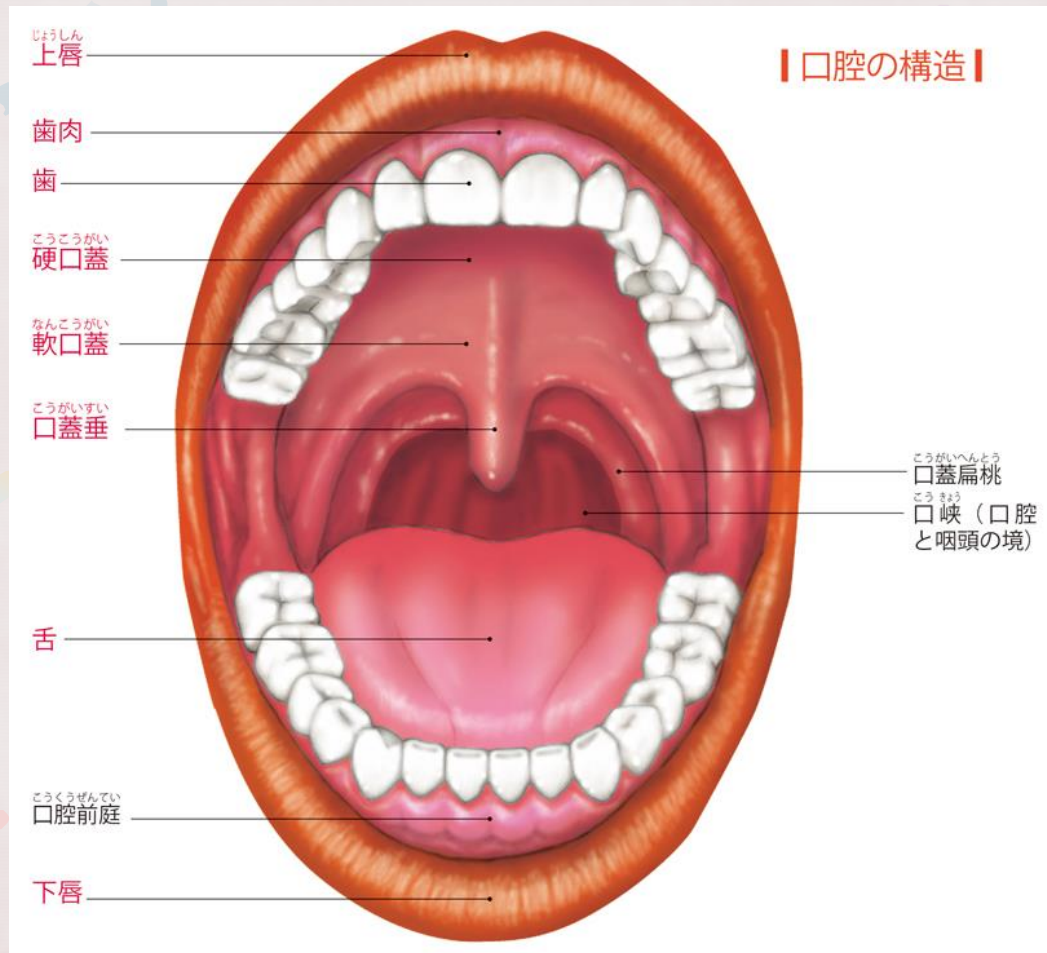
今回の研究会では、口腔内の基礎知識、そして実際はどうなのか、ケアはどのようにするのか、を学んでいきたいと思います。

口腔は体内への入り口です。特に全身状態が悪く抵抗力の弱い老人にとって口腔ケアは必要です。

口腔内の状態を理解することでその方に口腔ケア、義歯等歯の治療が必要なのかどうか、を把握するところとかと考へます。



# 口の中をみてみよう





舌について





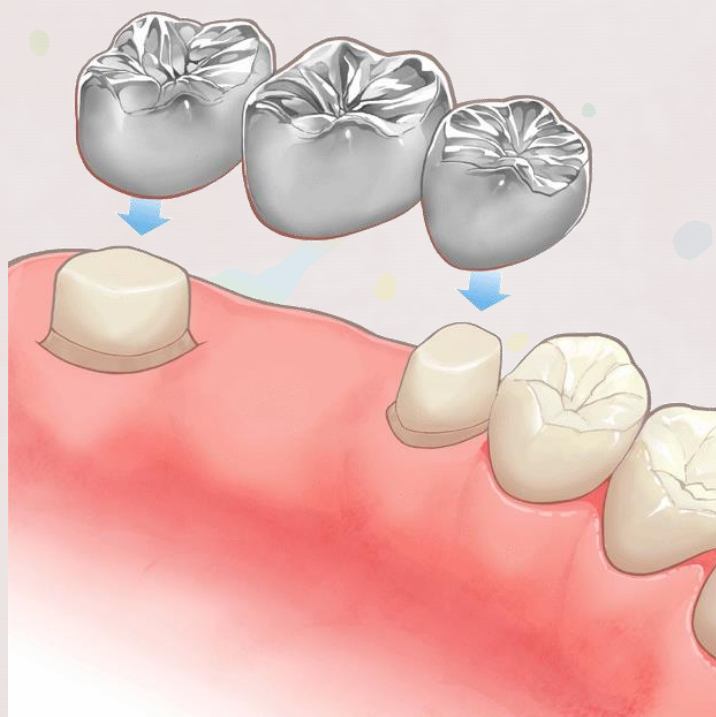


義歯とブリッジの違いについて  
これが義歯（入れ歯）。取り外しするタイプ



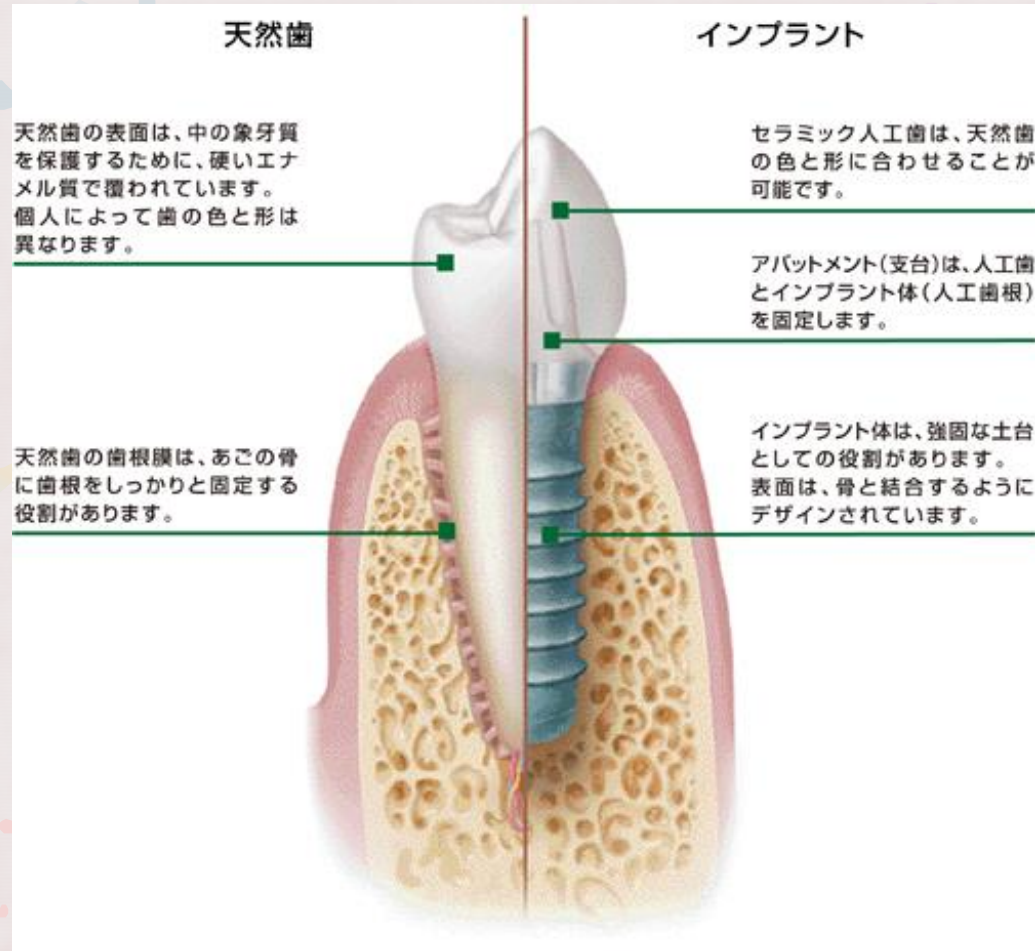


これがブリッジ（土台の歯に背接着されている）





# インプラントとは



# 訪問診療でできる治療について

彦根歯科医師会では訪問診療用のツールが2セット用意されています。

訪問することである程度の義歯の修理、歯の治療は可能ですが、その治療範囲はかなり限られます。ケースによっては応急処置的な感じになってしまうことがあります。

→可能な限りは通院できるような体制を取っていただけるとありがたく存じます。



## 実際のケース（来院されたケース）

患者：Fさん（ 歳）

流れ：元々Fさんの娘（ 歳）が通院されており、母の義歯が調子悪いので診てほしいとのこと。

Fさん自身もかつては自力で来院されていましたが現在は一人であるくことができず、家の中では這って移動していることもある、とのこと。

来院時にはご家族3人が抱えてスロープを移動、また院内での診療台への移動は床を這って来られました。

Fさんは軽度の認知症もあるようですが治療自体は可能。

# 口腔内の状態 1





一見すると問題ないように見えますが義歯は・・・









# 治療計画&治療 1

状況からでも複数回の来院は困難なので一日で終わらせる必要を感じました。

下の入れ歯が痛い、とのことでしたが上下とも歯肉の退縮が強く義歯は口を開けると落ちる状態でした。そのため、噛むと入る歯が歯肉に食い込んでしまい痛みが出ているようでした。

また下顎は入れ歯を作ったから歯が抜け、そのことでも顎放原因のかもしれない。作間がたかさんありました。

とにかく義歯が汚い。義歯全体に歯垢がべったり付着しており一部は歯石化していました。



## 治療 2

まずは掃除です。義歯の安定は得られなくとも少なくともこれだけで誤嚥性肺炎等感染症のリスクは抑えられます

上顎はともかく下顎は義歯装着後に沢山の歯が抜けてしまい、歯数が全くあていません。時間をかければ修正は可能ですが治療回数からとりあえず現状回復を目指すことにしました。

下顎の一部の欠損を補てんして上下とも内面のずれを修正しました。

## 治療後

義歯のずれが著しく、また驚くほどの汚れ具合でしたが清掃を行い、何とか使用して差し支えない状態にできたかと思います。下顎は入れ歯の本数が足りませんがこれでも食事をとることができれば必ずしも必要はないと思われ  
ます。今後は使用状況をご家族から伺い、必要に応じて対応予定です



# 治療後の義歯



義歯の適合は改善しました





## ご家族や周りの方のサポート

入れ歯の清掃、洗剤の使用。ブラッシングなど患者さん一人では中々難しいので、周りの方がサポートして患者さんの健康を維持することが大切です